

昭和の森

ビオトープの稲わらで 正月飾りを作ろう

武田宏子(千葉市)

日 時：2018 年 12 月 16 日 (日) 午後 1 時～3 時 天気 晴れ

場 所：千葉市緑公園緑地事務所

参加者：48 名 (大人 39 名 子ども 9 名)

担当指導員：主担当 須田聰恵 木嶋恵子

玉川弘幸 山下美佐子 武田宏子

昭和の森主催で行う正月飾りづくりは、今年で 2 年目の人気行事。今年も希望者殺到！！149 名の希望者の中から抽選で選ばれたラッキーな参加者 48 名。赤ちゃん連れの若夫婦、親子(小学生)連れ、若い世代からベテランまで、事務所のロビーは、満杯！！主担当が作成したプロ顔負けの注連飾りの見本の数々が参加者の意欲をそそります。

使用するのは、昭和の森ビオトープ田んぼの稲藁(大草よりいただいた藁もあり)。担当より稲わらは究極のエコ素材という話があり、その使い道の多さにびっくり。農家の人々は稲藁 1 本も無駄にせず大切に利用してきたことを知る。

いよいよ、作業開始！！藁のすき方を教わり、自分の使う藁を用意。最初に縄ないに挑戦。担当のわかりやすい説明と掲示物を見て一生懸命。そして、念願の輪飾り(リース)作り。すいた藁を 20 本ずつ 3 束作り、それを、それぞれ右巻きにして、今度はその 2 束を左巻きに編んで、それに、残りの 1 束を左巻きに編み込む。手足はもちろん体全体を使っの作業に熱気がこもる。子ども中心に粘り強くやり直す親子。2～3 人で助け合っ、参加者全員が上手に編み上げる。松や南天の実などお飾りの謂れを知り、飾り付けて、正月飾りが完成！！

お正月飾りを手にこの笑顔。良いお正月が迎えられたことでしょう。

